



決算説明会
2019年 3月期
上半期決算

業績報告 経営施策

2018年10月31日
ローム株式会社 藤原 忠信

■ 2019年3月期 上半期 業績報告

2019年3月期 上半期 業績報告
売上の変動要因
営業利益の要因別前年比較 上半期

■ 2019年3月期 通期 業績予想

2019年3月期 通期 業績予想
売上の変動要因
営業利益の要因別前年比較 通期

■ ロームの戦略

■ 株主還元

■ 2019年3月期 上半期 業績報告 (計画比)



(単位：億円)

	'19/3月期 上半期 実績	'19/3月期 上半期 計画	計画比 増減額	計画比 増減率
売上高	2,108	2,100	+8	+0.4%
営業利益	353	300	+53	+17.9%
(対売上比率)	(16.8%)	(14.3%)	-	-
経常利益	441	310	+131	+42.5%
(対売上比率)	(20.9%)	(14.8%)	-	-
純利益	309	225	+84	+37.5%
(対売上比率)	(14.7%)	(10.7%)	-	-
EBITDA	565	520	+45	+8.8%
(対売上比率)	(26.8%)	(24.8%)	-	-

期中平均レート
(¥/US\$)

(110.07円) (105.00円)

■ 2019年3月期 上半期 業績報告 (前年比)



(単位：億円)

	'19/3月期 上半期 実績	'18/3月期 上半期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	2,108	2,004	+104	+5.2%
営業利益	353	297	+56	+18.8%
(対売上比率)	(16.8%)	(14.8%)	-	-
経常利益	441	312	+129	+41.5%
(対売上比率)	(20.9%)	(15.6%)	-	-
純利益	309	231	+78	+33.9%
(対売上比率)	(14.7%)	(11.5%)	-	-
EBITDA	565	499	+66	+13.4%
(対売上比率)	(26.8%)	(24.9%)	-	-

期中平均レート
(¥/US\$)

(110.07円) (111.42円)

■ 2019年3月期 上半期

売上変動要因（計画比及び前年比）



(億円)

'19/3月期 上半期売上増減の主な要因		計画比	前年比
プラス要因	1 車載インフォティメント分野の売上拡大	▲1	+27
	2 産機FA分野の売上拡大	▲2	+27
	3 車載パワートレイン分野の売上拡大	▲2	+26
	4 事務機・POS分野の売上拡大	+11	+13
	5 車載ボディ分野の売上拡大	+1	+13
マイナス要因	1 大型LCDパネル向けドライバ売上減	+7	▲16
	2 TV市場の低迷	▲1	▲14
	3 スマートホンの売上減	+2	▲7
上記計		+15	+69

全体 (+8) (+104)

■ 2019年3月期 上半期 営業利益 要因別比較 (前年比)



(単位：億円)

'18/3期上半期 実績	'19/3期上半期 実績	差
297	353	+56

(主な要因)

売上げ要因

為替による売上高の減少	▲16	➡	+77
売上増加による限界利益の増加	+93		

変動費・固定費の要因

為替による変動費/固定費の減少	+10	➡	▲21
減価償却費の増加	▲9		
製造原価 (減価償却費以外) の増加	▲13		
販売費及び一般管理費 (減価償却費以外) の増加	▲9		

合計

+56

■ 2019年3月期 通期

業績予想 (計画比及び前年比)



(単位：億円)

	'19/3月期 通期 修正計画	'19/3月期 通期 計画	計画比 増減率	前年比 増減率
売上高	4,200	4,200	±0%	+5.8%
営業利益	620	580	+6.9%	+8.8%
(対売上比率)	(14.8%)	(13.8%)	-	-
経常利益	700	610	+14.8%	+29.1%
(対売上比率)	(16.7%)	(14.5%)	-	-
純利益	500	440	+13.6%	+34.2%
(対売上比率)	(11.9%)	(10.5%)	-	-
EBITDA	1,090	1,075	+1.4%	+8.6%
(対売上比率)	(26.0%)	(25.6%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (110.04円) (105.00円)



下期計画レート 期初105円→110円に変更

■ 2019年3月期 通期

売上変動要因（計画比及び前年比）



(億円)

'19/3月期 通期売上増減の主な要因		計画比	前年比
プラス要因	1 車載インフォティメント分野の売上拡大	+6	+70
	2 車載パワートレイン分野の売上拡大	+15	+68
	3 産機FA分野の売上拡大	▲19	+51
	4 車載ボディ分野の売上拡大	+1	+21
	5 事務機・POS分野の売上拡大	+21	+19
マイナス要因	1 TV市場の低迷	+0	▲25
	2 スマートホン向け売上減	+2	▲20
	3 大型LCDパネル向けドライバ売上減	+12	▲16
上記計		+38	+168

(0) (+229)

■ 2019年3月期 通期

営業利益 要因別比較 (前年比)



(単位：億円)

'18/3期通期 実績	'19/3期通期 見込み	差
570	620	+50

(主な要因)

売上げ要因

為替による売上高の減少	▲18	➡	+176
売上増加による限界利益の増加	+194		

変動費・固定費の要因

為替による変動費/固定費の減少	+12	➡	▲126
減価償却費の増加	▲36		
製造原価（減価償却費以外）の増加	▲69		
販売費及び一般管理費（減価償却費以外）の増加	▲33		

合計

+50

注力市場

車載市場

産機市場

海外市場

注力商品

パワー

SiC / ゲートドライバ / IPM

アナログ

電源IC/ドライバIC

スタンダードプロダクツ

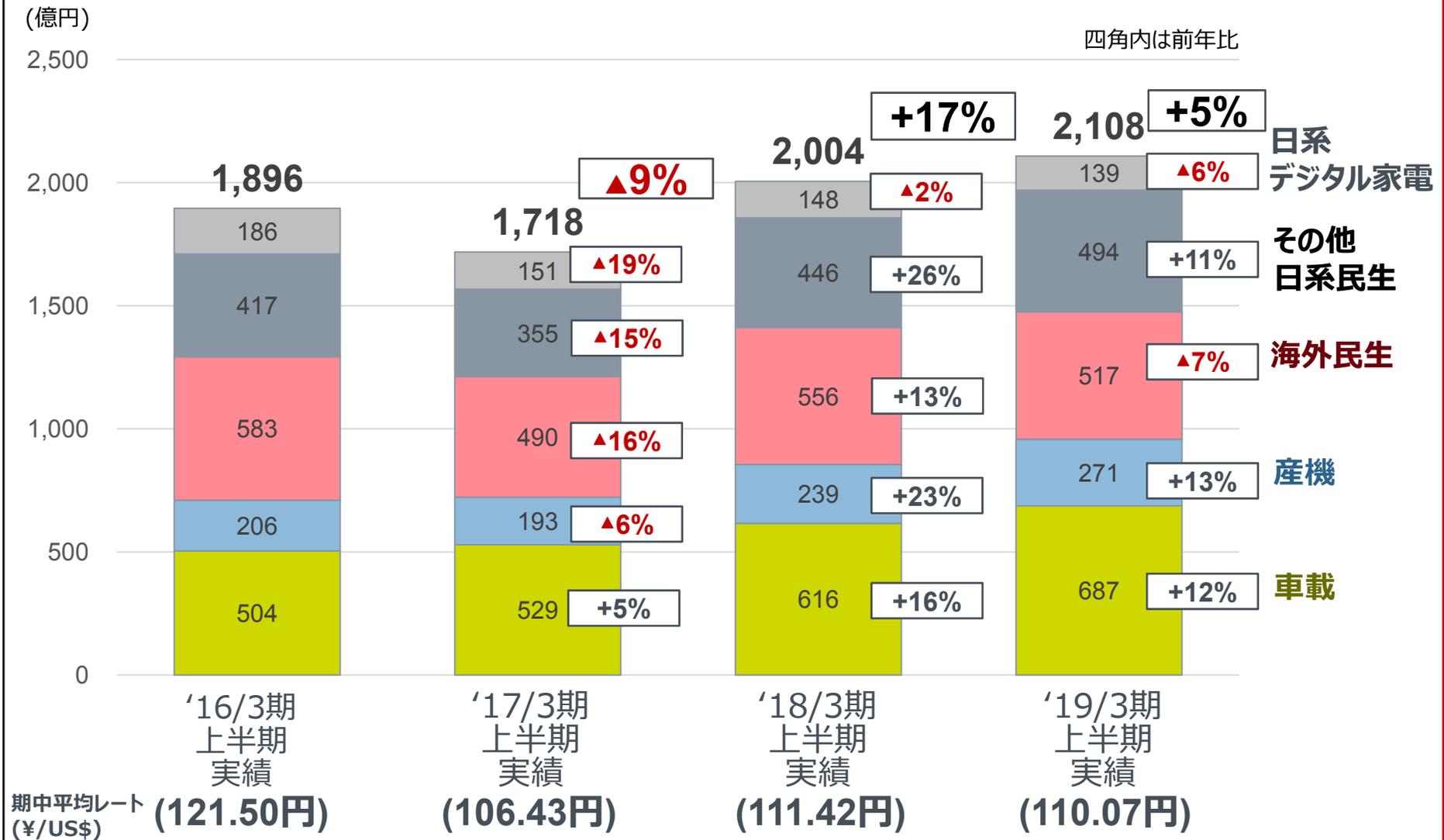
汎用IC/ディスクリート

ものづくりの強化

長期安定供給と需要変動に対応可能な生産体制を目指す。

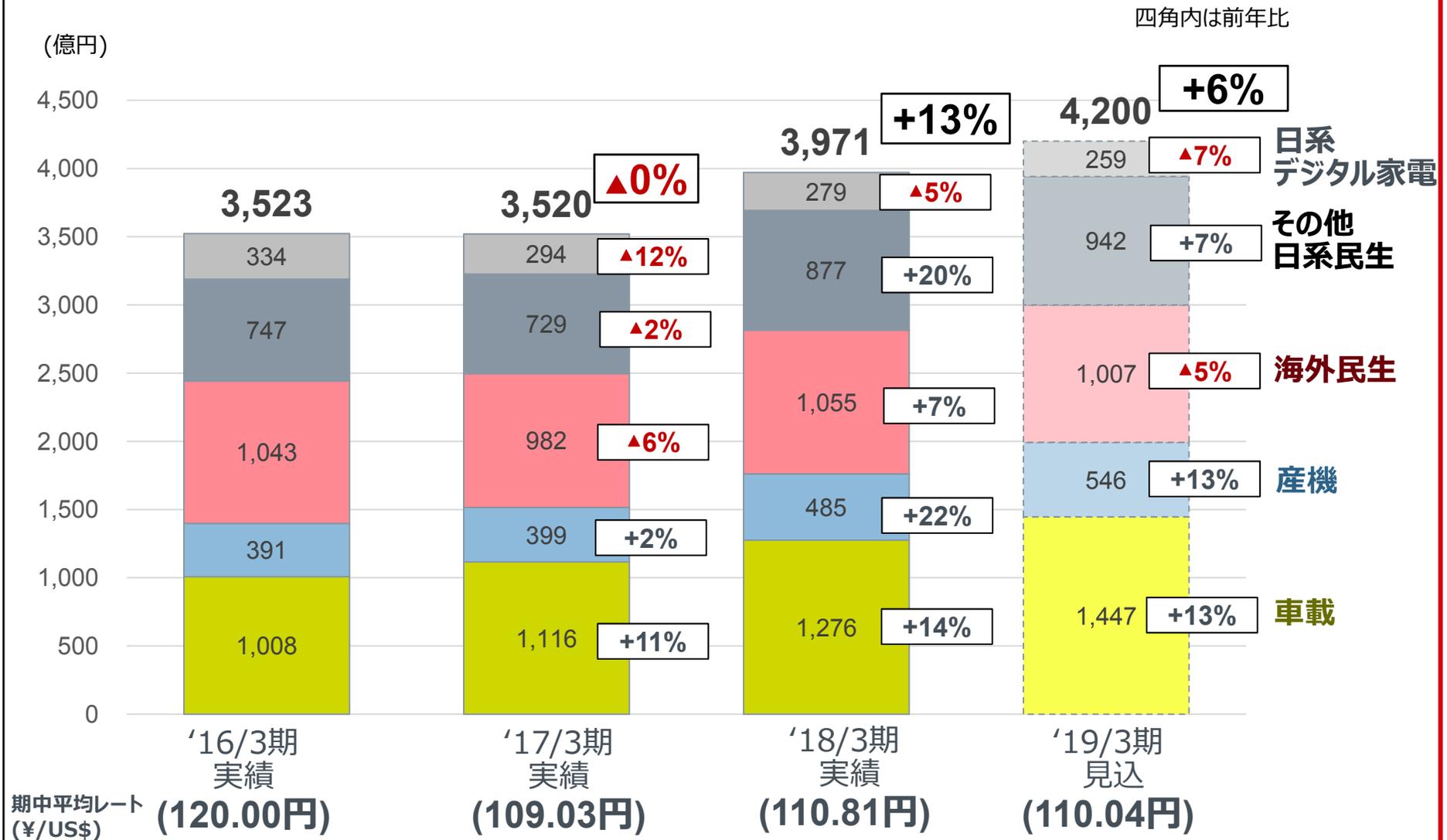
■ ロームの戦略

4年間の市場別販売推移（上半期比較）



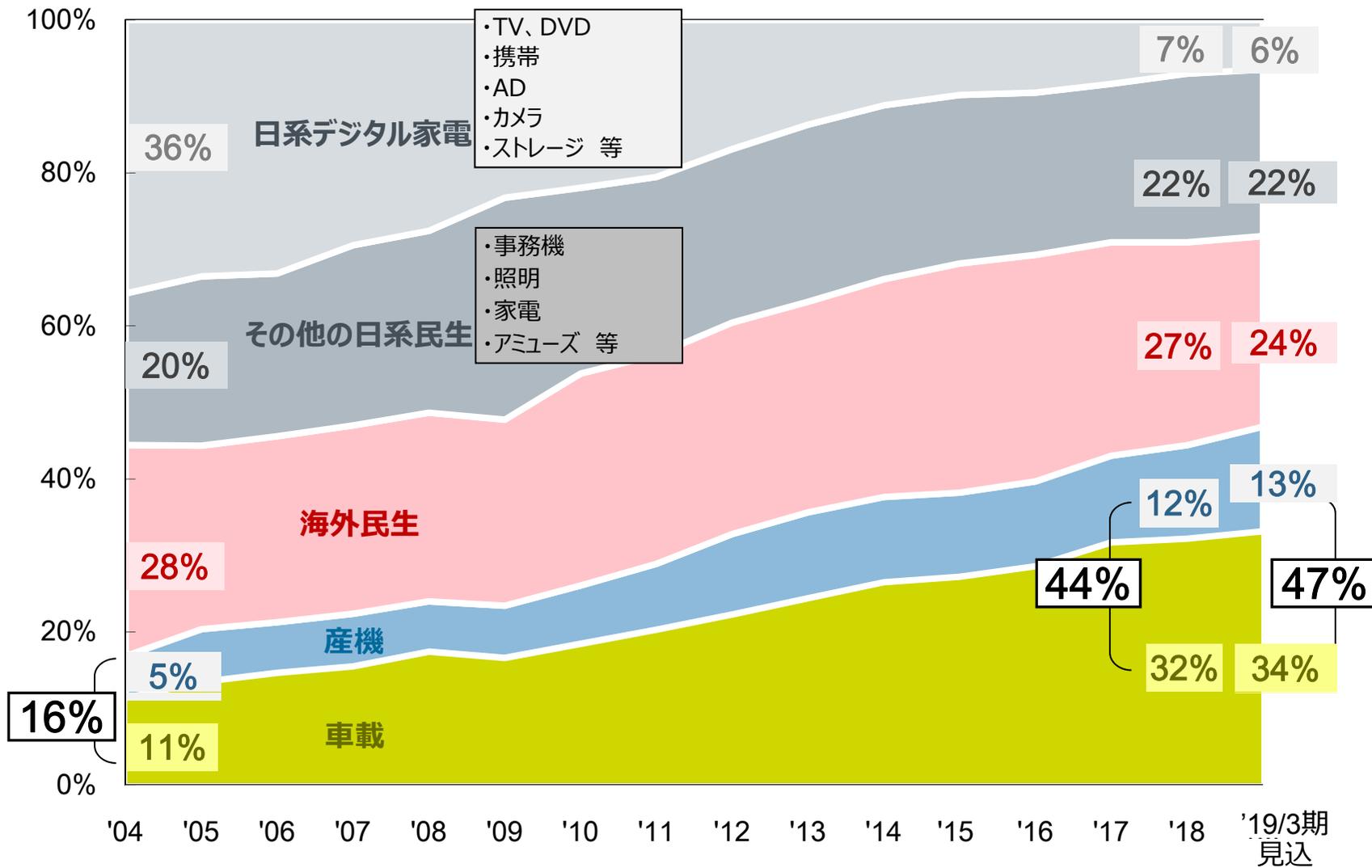
■ ロームの戦略

4年間の市場別販売推移 (通期比較)



■ ロームの戦略

市場別構成比推移



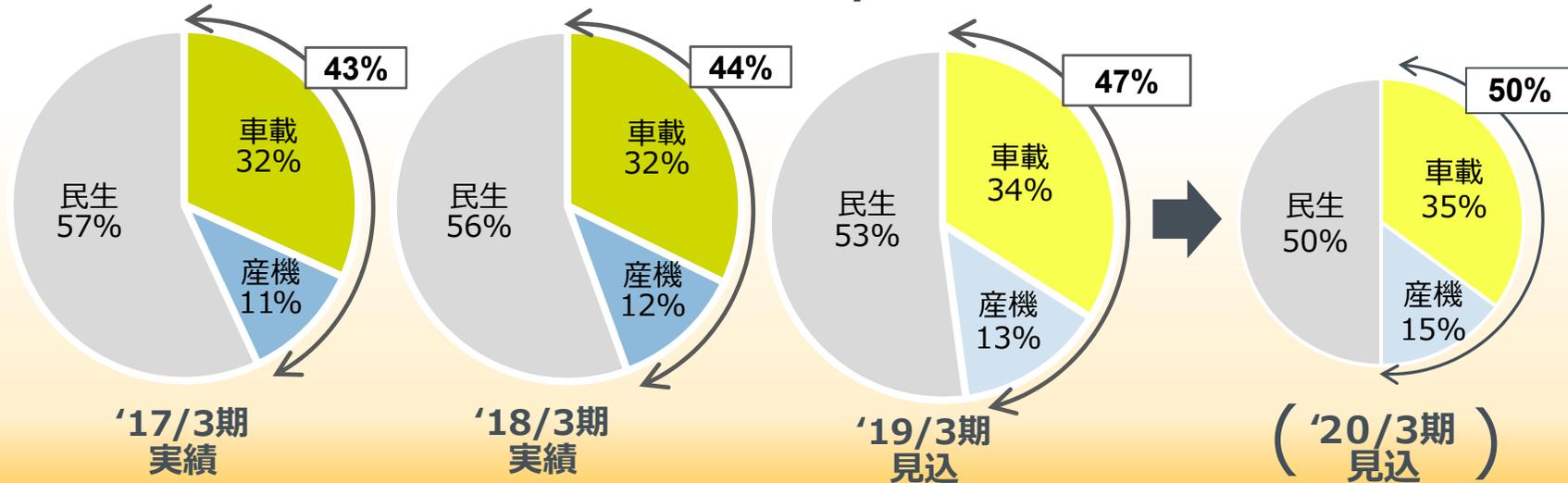
■ ロームの戦略

車載・産機比率および海外比率の推移



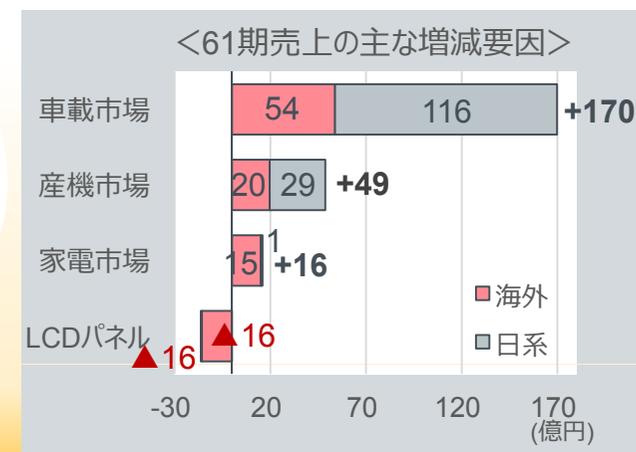
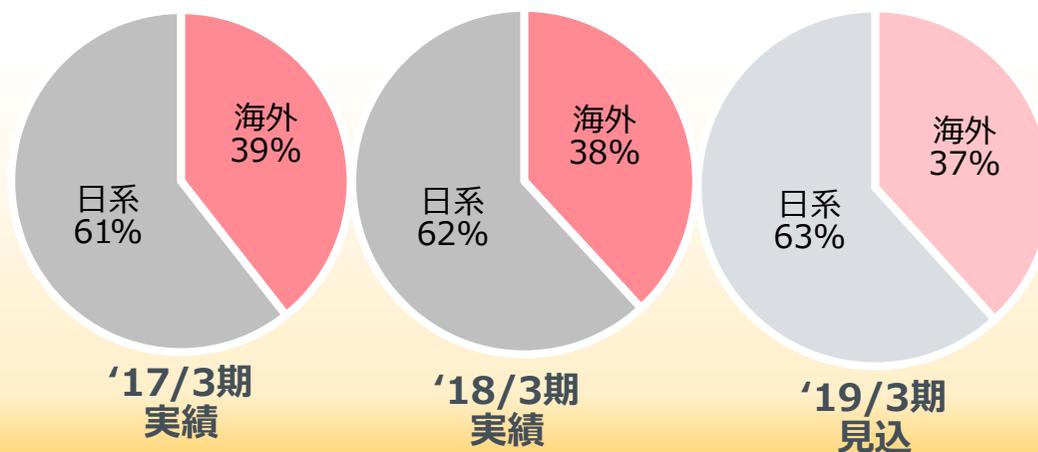
■ 車載+産機市場向け販売比率が2020年/3月期 一年早く50%に到達。

自動車・産機比率



■ 車載・産機・家電市場の海外売上は順調に拡大中。中期で50%を目指す。

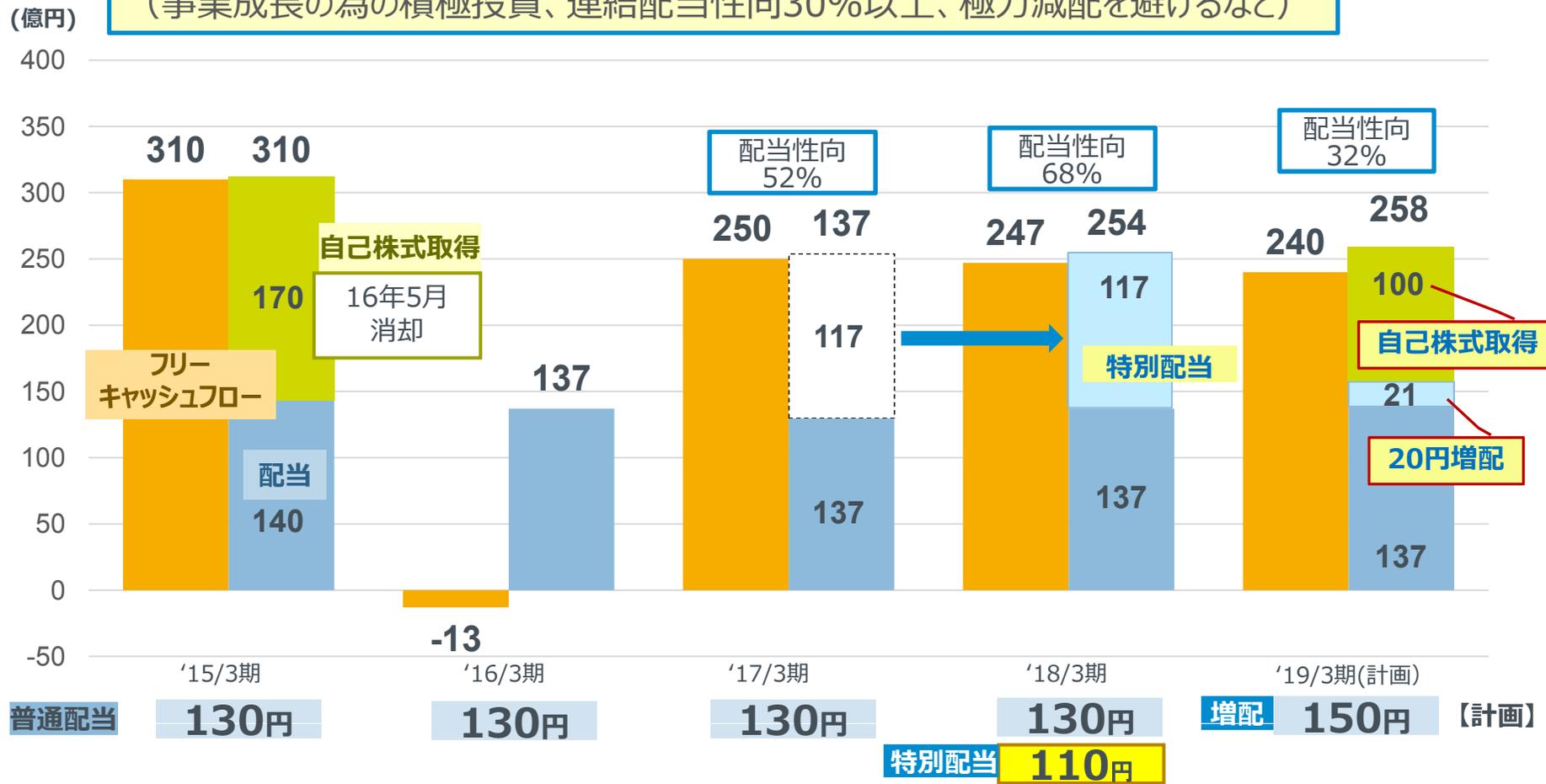
海外比率



株主還元 (フリーキャッシュフローと株主還元の推移)

①今後の政策保有株の縮減、②現在の株式市場の動向、③中長期業績見通し
上記を総合的に考慮し、自社株買いを実施。

従来からの財務政策、株主還元策については、変更なし
(事業成長の為の積極投資、連結配当性向30%以上、極力減配を避けるなど)



本資料に記載されている計画値につきましては、ロームグループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成をロームグループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

